

## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名 V-604KQ6・V-604KQE6・V-754KQE6・V-904KQE6

V-604KQEX6・V-604KQESW6

V-604KQEF6（高性能除じんフィルター付タイプ）

## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名 V-604KQ6-BL・V-6047KQ6-BL

〈換気ユニットレンジ用フードファン〉

優良住宅部品「BL」認定  
(BL規格自然給排気型IV型)

## 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■本製品は住宅用台所用です。業務用途では使用できません。

■本製品の施工にあたっては、地域により防災上の制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。

■接続ダクトはφ150の鋼管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 優良住宅部品（BL）について

●当社の定める施工要領を逸脱しない取付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、財団法人ペターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。

●BL保険制度については、財団法人ペターリビングのホームページ（http://www.blhp.org/）をご覧ください。

## 安全のために必ず守ること

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。	
水ぬれ禁止	直接水のかかる場所や温湯の多い場所には取付けない 感電および故障の原因。	
分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。	
プラグを抜く	ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る 通常状態では感電の原因。	
アース接続	アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因。	

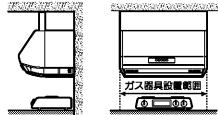
注意		誤った取扱いをしたときに傷害または 家庭・家財などの損害に結びつくもの
禁止	浴室など温湯の多い場所では絶対に使わない 感電・故障の原因。	電気工事・アース工事は電気工事が行うこと 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因。
指定以外のランプを使用しない	ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。	部品の取付けは確実に行う 落さによりけがの原因。
接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
指示に従う	本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落さによりけがの原因。	取付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

## 取付け前のお願い

下図の寸法を守る  
(本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です)

(モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります)

●レンジフードファンはガス器具よりも幅の広い物を選択してください。



(捕集性能が得られないことがあります)

直接コンクリートなど、傷のつきやすいもののうえには直接置かない

本体は水平に取付ける  
(前後・左右) (羽根当たりや異音の原因になります)

## ダクト工事

●給排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。  
先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。

●給気ダクトと排気ダクトの先端は排気が給気に混ざらないような位置に設け、また汚れた空気（燃焼ガスなど）を吸い込まない位置に取付けてください。

●給気ダクトには、結露防止のため断熱処理を行ってください。

●次のようなダクト工事はしない。（風量低下や異常音発生の原因になります）

- 直端な曲げ
- 多数の迂曲
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しづり

●システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。（製品性能が得られないことがあります）

- 鳥などの侵入防止にペントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。
- 給気ダクトに取付ける屋外フードには、防虫網付をご用意ください。

●風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。（油煙等の漏れの原因となります）

## 外形寸法図

## ■V-604KQ6、V-604KQ6-BL

## V-6047KQ6-BL

※図はV-604KQ6-BLを示します。

電動給気シャッター  
運動式（コード：V-604KQ6-BLのみ）

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

400

2×φ25天井用穴

●はダクト接続口可動寸法

●はヤンバーモーティブハンドル

●は上部給気接続口可動寸法

右・左側面給気接続口

480

上部給気接続口  
グリル吹出口

後部右側給気接続口

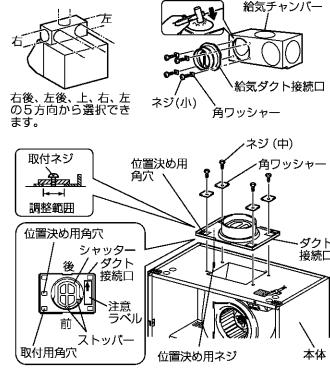
400

2×φ25天井用穴

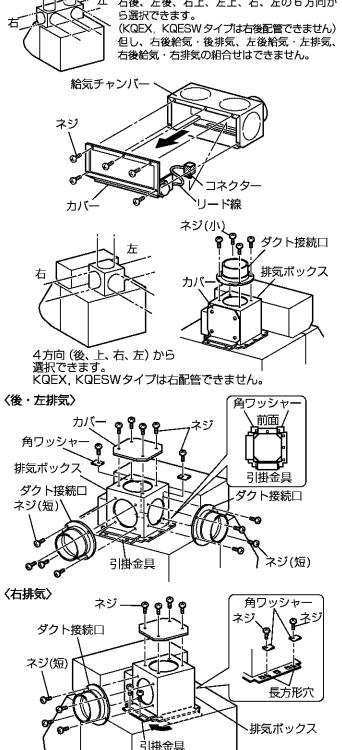
●はダクト接続口可動寸法

## 5 給・排気方向の選択

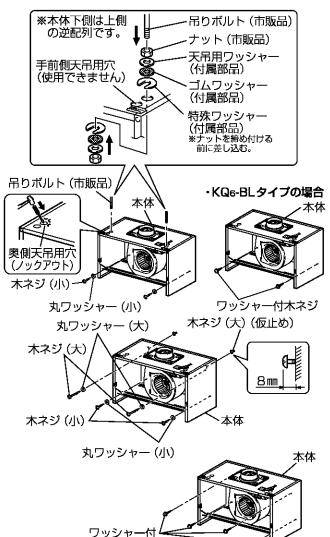
### ■KQタイプの場合



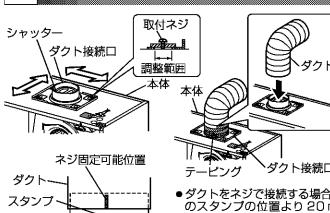
### ■KQE, KQEX, KQESW, KQEF タイプの場合



## 6 天井/壁に取付ける



## 7 排気ダクトの接続



●ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテープを貼してください。  
●ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し、風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。  
●シャッターがダクトに接触しないように施工してください。異常音発生や製品性能が得られないことがあります。

### 〈給気方向の選択〉

- 左図に示す5方向より給気方向の選択が可能。  
1 使用する給気口のノックアウトをハンマーまたはドライバーの柄などで打ち抜く。  
2 同様の給気ダクト接続口を給気チャンバーに付属のネジ(小)・角ワッシャー(各4個)にて取付ける。

### 〈排気方向の選択〉

- 市販のエルボを接続し、後・右・左排気が可能。  
1 ダクト接続口に貼ってある注意ラベルに従って図のように必ず位置決め用角穴と位置決め用ネジを合わせて取付ける。

(お願い)  
●ダクト接続口の取付け方向に注意してください。  
反対向きには取付けられません。(下図を参照してください)



- 2 ダクト接続口の取付け用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ(中)・角ワッシャー(各4個)で仮取付ける。

### 〈給気方向の選択〉

- 左図に示す6方向より給気方向の選択が可能。  
1 給気チャンバーのネジをはずし、カバーをボックスからはずす。

- 2 KQ タイプの場合と同様に同様の給気ダクト接続口を給気チャンバーに取付ける。

### 〈排気方向の選択〉

- 工場出荷時は上部排気。排気口に合わせ、後・右・左排気が可能。(KQEX, KQESW タイプは右排気できません)

- 上部排気の場合  
1 ダクト接続口に付属のネジ(小)4本で排気ボックスに取付ける。  
2 右後給気・上部排気の組合わせの場合は、排気ボックスを(左排気の場合)1の要領で回転させる。

- 後排気の場合  
1 カバーのネジ4本とカバーを取りはずし、カバーを排気ボックスの上部にはすしたネジで取付ける。  
2 ダクト接続口に付属のネジ(小)4本で後側(カバーがまかと取付けられた側)に取付ける。

- 左排気の場合  
1 排気ボックスのネジ・角ワッシャーをはずして、取りはずし、カバーが左側になるよう90°回転させ、はずしたネジ・角ワッシャーで排気ボックスを取付ける。  
2 排気ボックスが引掛け金具に確実に挿入されていること、および排気ボックスのパッキンがはがれていないことを確認する。

- 2 後排気と同様にカバーとダクト接続口を取付ける。

- 右排気の場合 (KQEX, KQESW タイプは右排気できません)  
1 排気ボックスのネジ・角ワッシャーおよび、引掛け金具のネジをはずして、取りはずす。  
2 排気ボックスを右側に取付ける。

- 3 取りはずした排気ボックスをカバー側が右側になるよう90°回転させ、排気ボックスの左側の長方形穴に、はずしたネジ・角ワッシャーで排気ボックスを取付ける。  
●必ず長方形穴を使用して取付ける。  
●排気ボックスが引掛け金具に確実に挿入されていること、および排気ボックスのパッキンがはがれていないことを確認する。

- 4 後排気と同様にカバーとダクト接続口を取付ける。

### ■天井取付けの場合

- 1 外形寸法図を参考して、排気方向と天井用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット(市販品4個)と付属の天井用ワッシャー、ゴムワッシャー(各4個)を取り付ける。

- 2 本体の奥側天井用穴(2か所)のノックアウトをハンマー等で打ち抜く。(手前側の天井用穴は使用できません)

- 3 本体を吊りボルトに吊り、付属の特殊ワッシャー(4個)を差し込む。

- 4 左図のように付属の特殊ワッシャー、ゴムワッシャー、天井用ワッシャーを介してナット(市販品)で固定する。  
●水平に取付いていることを確認する。

- 5 本体内部より壁面に向け付属の丸ワッシャー(小)と木ネジ(小)2本で本体を固定する。  
●KQ-BL タイプの場合

- 本体内部より壁面に向けて付属のワッシャー付木ネジ2本で本体を固定する。

### ■壁取付けの場合

- 1 仮止め位置に付属の木ネジ(大)を壁面と水平になるよう横のように8mm残して仮取付ける。(2か所)  
●壁面に下穴をあけてから木ネジを締め付けてください。

- 2 本体を木ネジに引掛ける。

- 3 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー(大・小)と木ネジ(大・小)で図のように本体4か所を固定する。

- KQ-BL タイプの場合  
傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属のワッシャー付木ネジで図のように本体4か所を固定する。

- 4 仮取付けした木ネジを締め付ける。

### ■壁取付けの場合

- 1 ダクト接続口に付属の木ネジ(大)を壁面と水平になるよう横のように8mm残して仮取付ける。(2か所)  
●壁面に下穴をあけてから木ネジを締め付けてください。

- 2 本体を木ネジに引掛ける。

- 3 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー(大・小)と木ネジ(大・小)で図のように本体4か所を固定する。

- KQ-BL タイプの場合  
傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属のワッシャー付木ネジで図のように本体4か所を固定する。

- 4 仮取付けした木ネジを締め付ける。

### ダクト接続口取付位置の調整

- あらかじめ記載しているダクトとダクト接続口にいずれが付いた場合はダクト接続口の取付ネジをゆるめて調整範囲でずらし、ダクトと合わせる。  
(KQE, KQEX, KQESW, KQEF タイプの場合は、排気ボックスを本体に固定している取付ネジをゆるめて調節する)

- 2 取付ネジを締め付け、ダクト接続口をしっかりと固定する。

- 3 ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテープを貼る。

- ダクトをねじで締める場合は、ダクト接続口のスパンナーの位置より20mm上の箇所で長さ10mm以上のネジで固定してください。

### お問い合わせ

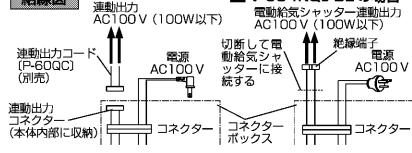
- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテープを貼してください。

- ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し、風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。

- シャッターがダクトに接触しないように施工してください。異常音発生や製品性能が得られないことがあります。

## 8 電気工事

### 結線図

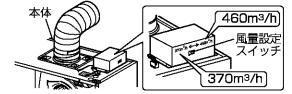


### V-604KQe-BLの場合

電動給気シャッター 運動出力 AC100V (100W以下)

電動給気シャッター 運動出力 AC100V (100W以下)

### V-604KQExeの場合 (風量設定)

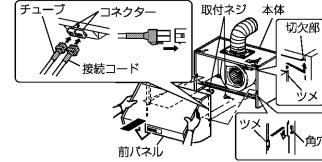


- 1 アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。(BLタイプ以外)  
2 電源プラグをコンセントに差し込む。  
(BLタイプの場合は、電源プラグと同形のコンセントを設けて、電源プラグを差し込む。)  
●電動給気シャッターを使用する場合は、結線図の太線部分を結線してください。  
(V-604KQe, V-604KQe-BL のみ)  
●運動出力コードと電動給気シャッターの結線の方法については、運動出力コードの取付説明書をご覧ください。

このレンジフードファンは強ノッチの風量370m³/hか460m³/hを選択できます。

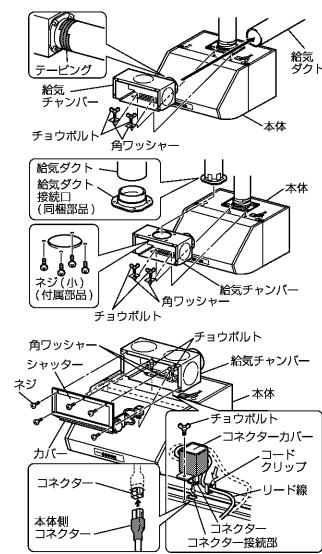
●工場出荷時は460m³/hにしてあります。

## 9 前パネルの取付け



- 1 前パネル上部のツメを本体切欠に引掛ける。  
2 前パネル下部のツメを本体下部の角穴に押し込み、下にさげる。  
3 前パネルと本体の両側を本体内部から図のようにはずした取付ネジ2本で固定する。  
4 前パネルのコネクターを本体にカチッと音がするまで差し込み接続する。  
●はずれないことを確認する。

## 10 給気ダクトの接続



### ■後・右・左給気の場合

- 1 給気チャンバーのダクト接続口を給気ダクトに差し込む。  
2 給気チャンバーをチョウボルトと角ワッシャーで本体に固定する。  
3 給気ダクトの接続部を市販のアルミテープなどで風漏れのないようテープを貼る。

### ■上部給気の場合

- 1 給気ダクト接続口を給気ダクトにテープなどで仮止めする。  
2 給気ダクト接続口と給気チャンバーのネジ穴位置を合わせて、給気チャンバー内側より付属のネジ(小)4本にて固定する。  
3 給気チャンバーをチョウボルトと角ワッシャーで本体に固定する。  
4 給気ダクトの接続部を市販のアルミテープなどで風漏れのないようテープを貼る。

### ■KQE, KQEX, KQESW, KQEF タイプの場合

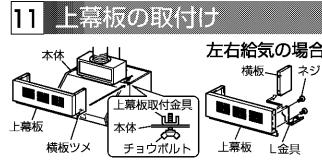
- 1 後・右・左給気の場合または上部給気の場合と同様にダクト接続口を取付け給気ダクトを接続する。  
2 給気チャンバーをチョウボルトと角ワッシャーで本体に固定する。  
3 本体のコネクター接続部にコネクターをめ込み、コネクターカバーをかぶせチョウボルトで固定する。  
4 余分のリード線をコードクリップで固定する。

- 5 カバーと給気チャンバーを元通りネジ止めする。

- 6 本体側のコネクターを接続する。

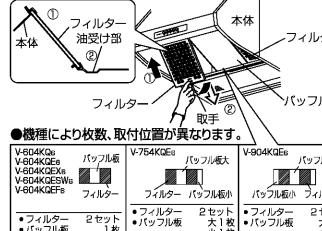
### お問い合わせ

- ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し、風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。



- ※給気方向側が左右の場合は横板のネジ2本をはずして取りはずす。付属のL金具をはずしたネジで取付ける。  
1 上幕板の横板ツメまたはL金具を本体と上幕板取付金具にはさむようにして、前側からスライドさせます。  
2 仮止めしてあるチョウボルトを締め付け固定する。  
●確実に取付けられていることを確認する。

## 12 フィルター・バaffle板の取付け



- 機種により枚数、取付位置が異なります。  
●フィルターとバaffle板の取付位置を確認してください。  
●V-754KQeの場合、バaffle板がガスコンロの中央になるようバaffle板を左右に移動してください。(捕集効果を高めるために必要です)

- 1 バaffle板は上部を差し込み、下側をはめ込む。  
2 フィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

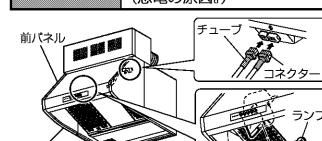
- 確実に取付けられていることを確認する。

## 取付工事後の確認

取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

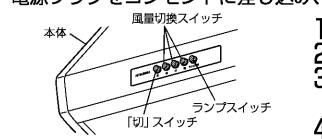
### △警告

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。(感電の原因。)



- 1 本体はしっかりと固定されていますか？  
上幕板はしっかりと固定されていますか？  
ランプは点灯していますか？
- 2 レンジフード内のコネクターが「カチン」と音がするまでしっかりと差込まれていますか？
- 3 D種接地工事は実施されていますか？  
(BLタイプ以外)

電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。



- 1 電源プラグはしっかりと差込まれていますか？  
2 ランプスイッチ「1」を押すとランプが点灯しますか？  
3 風量切替スイッチを押すと風量が切換わりますか？  
●電気シャッターが開きますか？  
(KQE, KQEX, KQESW, KQEF タイプ)  
4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？

試運転後、天井および壁などに内蔵用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 TEL:058-8666 岐阜県中津川市豊岡町1番3号 電話:0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。

## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名  
V-604KQESW6

## 取付工事説明書

## 販売店・工事店さま用

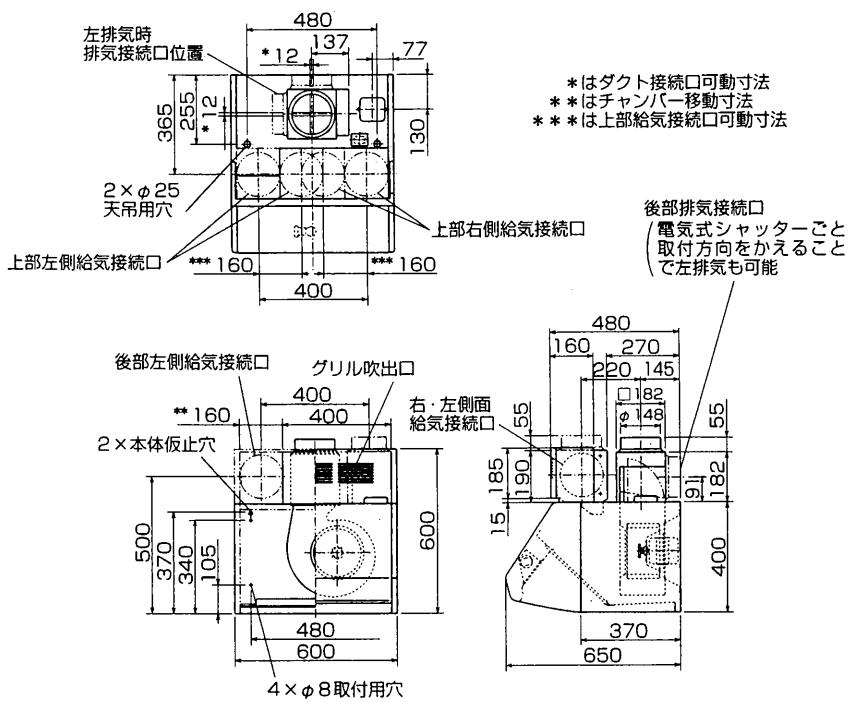
この製品は同梱の取付工事説明書と下記の項目が異なります。

下記以外の項目については同梱の説明書をご覧ください。

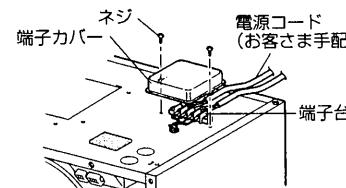
この製品には別売の〔壁埋込スイッチ（形名：P-04SW, P-60SW）〕または市販の埋込スイッチが必要です。

## 外形寸法図

## ■ V-604KQESW6



## 電気工事



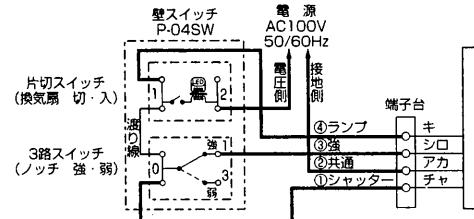
1 結線図に従って壁スイッチに結線する。

- ①端子カバーのネジ2本をはずして端子カバーを開け、端子台に電源コード（お客様手配）をネジ止めする。
- ②端子台カバーを元通り取付ける。

2 アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。

## 結線図

- 太線部分を結線してください。
- 市販の埋込スイッチを使用する場合も下記を参照して結線してください。

■壁埋込スイッチ P-04SW を  
使用する場合（ランプ入/切スイッチなし）

## お願い

- 2006年度4月版三菱換気送風機総合カタログ(P.275)に記載の、スイッチとの結線に対し変更されております。  
必ず本説明書の指示に従って結線してください。

## 3 下記の手順で壁スイッチと端子台の配線を確認する。

- 前パネルと本体の配線をつなぐコネクターをはずした状態で確認してください。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)。

## (1) 電源がきているときの正規電圧

(端子台にて電圧を確認してください)

■壁スイッチ P-04SW (ランプ入/切スイッチなし)  
を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	OFF	ON
	強	弱
シャッター①-共通②	-	100V 100V
共通③-強④	-	100V 100V
共通②-ランプ④	-	100V 100V

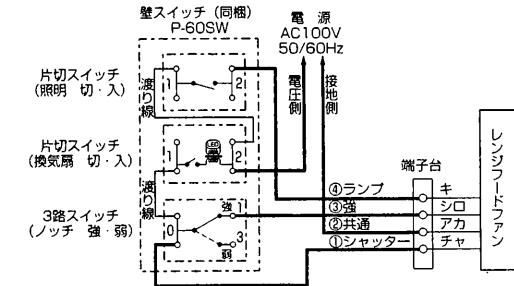
(電源電圧100Vは多少変動する場合があります)

■壁スイッチ P-60SW (ランプ入/切スイッチ付)  
を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	OFF	ON
	強	弱
シャッター①-共通②	-	100V 100V
共通③-強④	-	100V -

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	OFF	ON
	ランプスイッチ	
共通②-ランプ④	-	100V

■壁埋込スイッチ P-60SW を  
使用する場合（ランプ入/切スイッチ付）(2) 電源がきていらないときの導通の有無  
(端子台にて導通を確認してください)■壁スイッチ P-04SW (ランプ入/切スイッチなし)  
を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	強	弱
シャッター①-共通②	通②	弱
共通②-強③	強③	
シャッター①-強③	弱	
シャッター①-ランプ④	通④	
弱④-ランプ④		通④

■壁スイッチ P-60SW (ランプ入/切スイッチ付)  
を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	強	弱
シャッター①-共通②	通②	弱
共通③-強④	強④	
シャッター①-強④	弱	

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	OFF	ON
	ランプスイッチ	
共通②-ランプ④	-	ON